

## 研修会等報告(復命)書

三次市議会議長 様

会派 真正会  
横光春市

下記のとおり、視察研修等が終了したので報告します。

	会派代表者	○	経理責任者	○									
視察議員	真正会 横光春市												
期間	令和5年10月23日(火)												
研修先	リファレンス駅東ビル 研修室												
研修用務	① 基礎からわかる認知症基礎問題 ② 基礎からわかる学校統廃合問題												
研修講師	地方議会研究会 講師 ○												
研修の概要 ①	<p>【① 基礎からわかる認知症基礎問題】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th><th>認知症患者人口</th><th>対高齢者人口</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2012(平成24)年</td><td>4,620,000人</td><td>7人に1人</td></tr> <tr> <td>2025(令和7)年</td><td>7,000,000人</td><td>5人に1人</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記は厚生労働省のデータであり、国の政策はこのデータに示した数値を基本に行っている。</li> <li>認知症は症状であり、アルツハイマーは病名である。認知症には4つに分類され、概ね症状による割合はつきのとおりである。 アルツハイマー型認知症=50%、レビー小体型認知症=20%、 脳血管性認知症=15%、前頭側頭葉変性症(ピック病)=15%</li> <li>介護保険法で、第一条に、国の方針がはっきりと示している。「その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう」である。国が全てを見るのは考えていない。能力に応じて、不足する部分を支援するという基本的な考え方である。</li> <li>認知症対策基本法が令和5年度に施行された。</li> </ul> <p>認知症対策基本法(市町村認知症施策推進計画)</p> <p>第十三条 市町村(特別区を含む。)は、基本計画(都道府県計画が策定されているときは、基本計画及び都道府県計画)を基本とするとともに、当該市町村の実情に即した市町村認知症施策推進計画(以下この条において「市町村計画」という。)を策定するよう努めなければならない。</p>	年	認知症患者人口	対高齢者人口	2012(平成24)年	4,620,000人	7人に1人	2025(令和7)年	7,000,000人	5人に1人			
年	認知症患者人口	対高齢者人口											
2012(平成24)年	4,620,000人	7人に1人											
2025(令和7)年	7,000,000人	5人に1人											

2 市町村計画は、社会福祉法第百七条第一項に規定する市町村地域福祉計画、老人福祉法第二十条の八第一項に規定する市町村老人福祉計画、介護保険法第百十七条第一項に規定する市町村介護保険事業計画その他の法令の規定による計画であつて認知症施策に関する事項を定めるものと調和が保たれたものでなければならない。

3 前条第三項から第七項までの規定は、市町村計画について準用する。

#### 【② 基礎からわかる学校統廃合問題】

学校の統廃校のやり方には二通りの方向がある。

1点目、議会の審議では時間を決めず、17次を過ぎても延々と審議を続け、意見が出なくなるまで行うこと。全体の方向性が見えてくる。

2点目、統合、廃校の方向を定め、即効性を持って行う。

また、統校の有り様で、もう一点は、既存の学校に統合し、定めた学校を廃校するのではなく、何校かわ廃校し、新たな地域(中心地)に学校を新設した寝屋川市の例を紹介された。

※ 統廃校は決定するまでは意見が多く出されるが、決まれば、出なくなる。

#### 所感①

認知症の研修では、脳の正体・原動力・脳を解剖した図等を示し説明されたり、デイサービスでの有り様は、体操や遊戯等だけでなく、その人のワクワクすることを取り入れることによりドータミンが出て元気になる。

認知症は症状によりカルテが違い、その診断の間違いによっては薬が異なり大変なことになるなど、自分の心に響くものがあった。自分の議会活動に活かしたい、生きる、支える、地域作りに活かせる講義であった。

学校統廃合においては、閣議決定における国の方針を紹介いただいたり、各自治体の例を紹介いただいたが、三次市ではどのように取り組めば良いのか、地域住民との意見交換を行い理解を求めることが大切であるが、児童・生徒の事を中心に考えなくてはならない。地域の思い保護者、児童生徒の思いが乖離している点も見逃せない。

ただ、地域、故郷の事を考える地域住民、保護者を育てるこことも大切であり、とりわけ、児童・生徒の故郷学習を行い地域を愛する子ども達を育てることを忘れてはならないと考える。

#### 写真

